

# ■プロジェクト構成について(素案)

[第3章 実現に向けた具体的方策]

[プロジェクト名は全て仮称]

[中部圏・北陸圏連携プロジェクト案]

戦略1 世界最強・最先端のものづくりの進化

①世界最強最先端ものづくり産業強化PJ

②世界のものづくり対流拠点PJ

[産学連携型]  
・産業、物流、研究連携プロジェクト

戦略2 スーパー・メガリージョンのセンターとして、我が国の成長を牽引

③リニア拠点地域づくりPJ

④新たな中部観光交流圏形成PJ

[観光交流型]  
・広域観光プロジェクト

戦略3 地域の個性と対流による地方創生

⑤中部圏地方創生PJ

⑥経済・生活圏連携都市構築PJ

⑦暮らしやすい地域づくりPJ

戦略4 安全・安心で環境と共生した地域づくり

⑧中部圏強靱化実現PJ

⑨豊かな国土基盤・管理PJ

⑩環境共生先進圏形成PJ

[国土強靱型]  
・環太平洋－環日本海レジリエンス強化プロジェクト

戦略5 人材育成と共助社会の形成

⑪すべての人が輝くひとづくりPJ

⑫新たな「つながり」社会構築PJ

「産学連携型」  
産業、物流、  
研究連携プロジェクト

### 1. 日本の成長を担う産業の強化

～企業の国内回帰・海外の対日投資を呼び込む～

(1) 中部圏の産業競争力の強化、世界最強・最先端のものづくり中枢圏の形成

① 中部圏の戦略産業の強化

② ものづくりマザー機能の強化、世界最強・最先端のものづくり中枢圏の形成

③ 展開の支援

(2) ものづくり産業を支える中堅・中小企業の振興

(3) 環太平洋・環日本海に拓かれた国際戦略の拠点・中部北陸圏の連携強化

### 【戦略5】地域の個性と対流による地方創生

#### 1. 人材育成、女性・高齢者等の参画

(1) グローバルに活躍する人材の育成と確保

#### 2. 国際競争力を支える産業基盤の強化

(1) 基幹産業を支える国際物流拠点の強化

① 港湾の機能強化

② 空港の機能強化

③ 空港・港湾の安全性強化

(2) ものづくり産業を支える陸海空の拠点を結ぶ道路ネットワーク強化

(3) 将来を見据えた総合的な土地の利活用

(4) 安定したエネルギー供給の多様化・水資源の確保

#### 3. 高度なものづくり技術の活用による新たな産業の創生

(1) ものづくり産業に関連する新たな産業の創生

(2) 大学や官・民の研究施設等のネットワーク強化による更なる研究力の強化

#### 4. 水素社会実現等の新しい世界モデルの提示

## ① 世界最強最先端ものづくり産業強化PJ

・中部圏がものづくり中枢圏域として引き続き我が国経済を牽引するための戦略産業の発展・強化に取り組む。  
・各国企業の投資を呼び込み、高度人材を惹きつける基盤・環境を整備する。  
・ものづくり産業を支える中堅・中小企業の持続的な経営環境を実現する。

・ 中部圏の産業競争力の強化

・ 世界最強・最先端のものづくり中枢圏域の形成

・ ものづくり中堅・中小企業の振興

・ 環太平洋・環日本海に拓かれた国際世路拠点の形成

・ 国際競争力を支え、世界から投資を呼び込む基盤・環境の整備

## ② 世界のものづくり対流拠点PJ

・最先端技術の積極的な活用を図り、知的対流拠点機能の整備・強化等により、革新的なイノベーション創出し、新たな産業創成を図る。  
・水素関連技術の開発と積極的な展開により、世界をリードする水素社会を構築する。

・ 先端技術の積極的活用による新産業の創出

・ イノベーション創出や起業・創業を支援する知的対流拠点機能の整備・強化

・ 世界をリードする水素社会の構築

[第3章 実現に向けた具体的方策]

1. リニアを活かした新たな中部圏の形成  
～日本のハートランド・中部～

- (1) 中部圏の役割と中部固有の新たな価値の創造
  - ① スーパー・メガリージョン、中部圏の役割
  - ② 企業活動の構造転換、多様なライフスタイル、人が集う「極」、中部圏ポテンシャル
  - ③ 日本のハートランド・中部
- (2) 大名古屋への変革－世界のNagoyaへ－
- (3) リニア中間駅を核とした地域づくり
  - ① リニア長野県駅（飯田地域）
  - ② リニア岐阜県駅（中津川地域）
- (4) 東海道新幹線沿線地域へのリニア効果を活かす地域づくり

2. リニア効果の中部圏全域への波及

- (1) 名古屋駅のスーパーターミナル化
- (2) リニア効果波及のためのネットワーク強化
  - ① 中部国際空港の機能強化、並びに名古屋駅とのアクセス強化
  - ③ リニアと一体となった道路・鉄道ネットワークの強化

3. リニア時代を見据えた観光・交流

- (1) 国内外との観光・交流の促進
  - ① 中部国際空港やリニア駅を核とした広域観光交流圏の形成
  - ② 昇龍道プロジェクトの展開強化
  - ③ クルーズ観光の振興、普及
- (2) 国際交流拠点の魅力創造・発信

【戦略3】地域の個性と対流による地方創生

- 4. 地域の個性を活かした交流連携の創出
  - (1) 地域資源を最大限活用する観光振興

③ リニア拠点地域づくりPJ

・リニア中央新幹線により三大都市圏が一体となったスーパーメガリージョンの「極」として、名古屋駅、中間駅の拠点性を高め、人・モノ・カネ・情報を積極的に取り込む。  
 ・リニアの高速性がもたらす効果を全域へ波及させるためのネットワーク整備を推進する。

・世界のイノベーションセンターNagoyaの形成

・リニア中間駅を核としたまちづくり

・リニア効果を活かす東海道新幹線沿線地域づくり

・リニア効果を中部圏全域に波及させる基盤・環境の整備

④ 新たな中部観光交流圏形成PJ

・リニア中央新幹線によって生じるネットワーク効果を最大限に活かした広域的な観光交流圏のさらなる形成を推進する。  
 ・格段に向上する国際交流ポテンシャルを活かす、MICE、国際会議・イベントの誘致と受入環境整備を推進する。

・リニア一体の交通ネットワークを活かした広域観光交流圏の形成

・昇龍道プロジェクトの一層の展開と強化

・クルーズ観光の振興・普及

・国際交流拠点の整備と国際イベント等の招致

「観光交流型」  
広域観光プロジェクト

[第3章 実現に向けた具体的方策]

1. コンパクト+ネットワーク

- (1)「小さな拠点」の形成・活用による持続可能な地域づくり
  - ①「小さな拠点」の形成
  - ②「道の駅」や「みなとオアシス」などの有効活用

- (2) 地域特性に即した「コンパクト+ネットワーク」による対流の促進

2. 広域的な連携により創り出す都市圏等の形成

- (1) 連携中枢都市圏の形成をはじめとした高次都市機能等の相互補完連携

- (2) 地域の個性や特性を活かした広域連携による地域づくり

3. 地域産業の活性化による地域活力の維持・発展

- (1) 地域を支える農林水産業の強化
  - ① 農業
  - ② 林業
  - ③ 水産業
- (2) 地域の守り手・建設業の強化
- (3) 地域住民の生活を支える地域消費型産業の振興

4. 地域の個性を活かした交流連携の創出

- (1) 地域資源を最大限活用する観光振興
- (2) 歴史・文化の魅力を活かしたまちづくり
- (3) 美しい風土・風景と良好な景観の創出
- (4) 伝統工芸の振興

5. 快適・安心で人と環境にやさしい生活環境の構築

- (1) 自動車や公共交通など多様な交通手段の連携により住みやすい生活環境の構築
  - ① ICT・新技術等を活用した次世代交通システムの構築
  - ② モビリティセンター・利用者のニーズにあった交通システム
  - ③ 環境先進地としての交通環境の整備
- (2) 住民生活の安全確保

【戦略5】人材育成と共助社会の形成

4. 医療・介護、福祉における安心な暮らしの確保

⑤ 中部圏地方創生 P J

・地域の実情・特性に合わせたコンパクト+ネットワークによる地域づくりを進める。  
 ・農林水産業や地域消費型産業などの活性化による地域活力の維持・向上を図り、持続可能な地域づくりを推進する。

・「小さな拠点」の形成・活用

・地域特性に即した「コンパクト+ネットワーク」の形成

・地域産業の活性化による地域活力の維持・発展

・地域の個性を活かした交流連携の創出

⑥ 経済・生活圏連携都市構築PJ

・連携中枢都市圏の形成や、歴史的・地形的つながりを考慮した広域連携を多極分散型地域構造を拠り所に進め、ヒト・モノ・カネ・情報が活発に対流する重層的で有機的なネットワークを形成する。

・高次都市機能等の相互補完連携の推進

・歴史的・地形的なつながりなど個性・特性を背景とした広域連携の推進

・三遠南信地域連携の促進

⑦ 暮らしやすい地域づくり P J

・環境負荷の少ない次世代型交通システムの構築など、多様な利用者ニーズに対応する交通システムの構築を先導的に進める。  
 ・安全安心な暮らしを送ることができる生活環境の整備をハード・ソフト両面で推進する。

・次世代交通システムなど多様なニーズに応じた交通環境の整備

・安全安心な暮らしを送ることができる生活環境の整備

・地域特性に応じた最適な医療・介護・福祉環境の構築

【第3章 実現に向けた具体的方策】

1. 災害に対して粘り強くなやかな国土の構築

- (1) 南海トラフ地震に備えた国土構造の構築
- (2) 頻発・激甚化する自然災害への対応
- (3) 都市の防災・災害対策の推進
- (4) ものづくり産業の防災力強化
- (5) 広域的な連携による支援体制の強化
- (6) ネットワークの多重性・代替性の確保、並びに首都圏のバックアップ体制の強化
  - ① ネットワークの多重性・代替性、太平洋・日本海2面活用型の強靱な国土の構築
  - ② 首都圏のバックアップ体制の強化
- (7) 地域コミュニティによる自助・共助体制を活かした防災力の向上

【戦略5】人材育成と共助社会の形成

2. 多様な主体による共助社会づくり

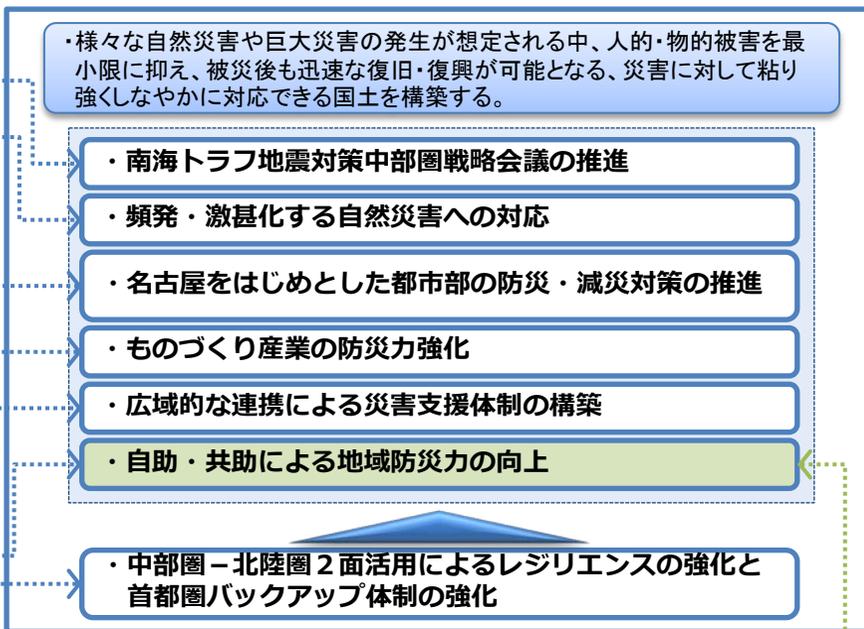
2. 国土の適切な管理

- (1) 健全な水循環、物質循環の安定的確保による循環型国土・社会の構築
- (2) 総合的な土砂管理の推進
- (3) 森林や農地の整備保全
  - ① 森林
  - ② 農地

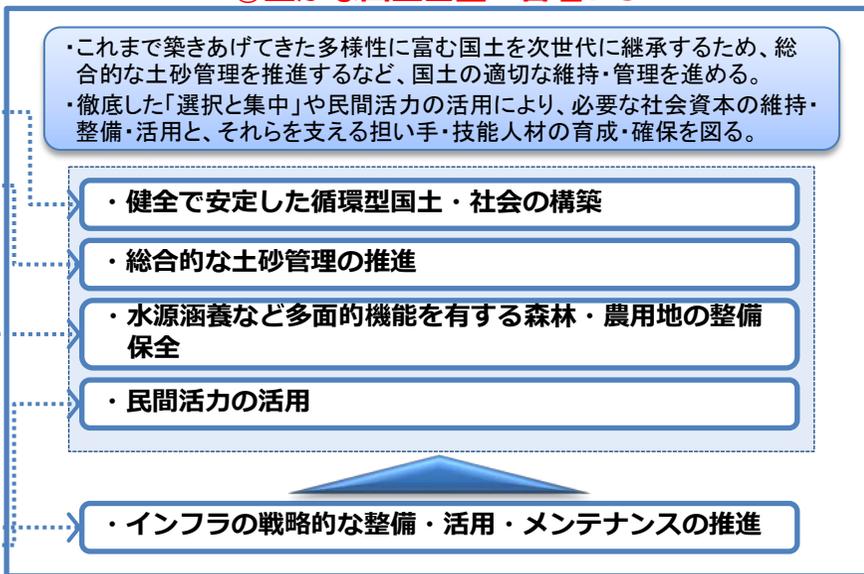
3. インフラの維持・整備・活用

- (1) インフラの戦略的なメンテナンスの推進
- (2) インフラの戦略的な活用
- (3) インフラを支える担い手の確保・育成
- (4) 民間活力の活用

⑧ 中部圏強靱化実現 P J



⑨ 豊かな国土基盤・管理 P J



【北陸圏との連携プロジェクト案】

「国土強靱型」  
 ・環太平洋－環日本海レジリエンス強化プロジェクト

#### 4. 環境と共生した持続可能な地域づくり

##### (1) 自然環境の保全・再生

- ① 多様な自然環境の保全・再生
- ② 沿岸域の海洋環境の保全・再生
- ③ 生物多様性の確保

##### (2) 低炭素型都市・地域づくりの推進

#### ⑩環境共生先進圏形成PJ

・中部圏の有する多様な自然環境を将来に渡り保全していくため、自然環境や生態系ネットワークの保全・再生を進める。  
・環境負荷の少ない低炭素型都市・地域づくりを推進し、我が国を先導する環境共生圏形成を図る。

・多様な植生、生態系の維持・保全による生物多様性確保

・伊勢湾再生プロジェクトの推進

・低炭素型都市・地域づくりの推進

## [第3章 実現に向けた具体的方策]

### 1. 人材育成、女性・高齢者等の参画

- (1) グローバルに活躍する人材の育成と確保
- (2) 地域を担う人材の育成と確保
- (3) 女性活躍社会の実現
- (4) 高齢者参画社会の促進
- (5) 多文化共生社会の形成

### ① 世界最強最先端ものづくり産業強化PJ [再掲]

- ・世界最強・最先端のものづくり中枢圏域の形成

### ⑪ すべての人が輝くひとづくりPJ

・若者や女性、高齢者、外国人など地域で生活する一人一人が夢や希望を持って安心して働き、暮らし続けることができ、地域の担い手として主体的に参画し、活躍できる環境を整備する。

- ・安心して子どもを産み育てキャリア形成できる女性活躍社会の実現
- ・多様な人材が地域を支え・担い・活躍できる社会の構築
- ・多文化共生社会の形成

### ⑫ 新たな「つながり」社会構築PJ

・共助の精神により、住民が主体的に支え合う活力ある社会を構築するため、多様な主体の育成や資金調達など環境整備を進める。  
・日常生活支援サービス産業やソーシャルビジネスの育成、ヒトの「対流」の活用などを図る。

- ・多様な主体の育成と地域づくりへの展開
- ・誰もが愛着を持ち住み続けたい地域づくり
- ・多世代交流によるコミュニティ再生

### ⑦ 暮らしやすい地域づくりPJ [再掲]

- ・地域特性に応じた最適な医療・介護・福祉環境の構築

### 2. 多様な主体による共助社会づくり

### 3. 誰もが愛着と憧れを持ち、働き住み続けたい地域づくり

### 4. 医療・介護、福祉における安心な暮らしの確保